

変数と printf の応用

♣Ⅳとは？

ソフトゼミⅣとはソフトゼミ A で習ったことの補足、応用の内容です。

♣変数&printf(上級編)

まずは下のコードを見て下さい。

```
#include<stdio.h>
int main(void){
    int n;
    double m;
    n = 13;
    m = 12.34;
    printf(“%d¥n”,n);
    printf(“%f¥n”,m);
    printf(“%5d¥n”,n);
    printf(“%6.2f”,m);
    return 0;
}
```

実行してみてください。

```
13
12.340000
    13
    12.34
```

となりましたか？順番に見ていきましょう。

まず、変数を宣言しています。int 型の変数 n と double 型の変数 m です。

次にその変数に代入が行われています。n=13; m=12.34;のことですね。

printf 内の[,]の後に数字ではなく変数が来ていますね。printf と変数はこのように使えます。そして printf は%(数字)d という使い方もあります。これは最低 5 桁で表示するという意味です。数字が 5 桁未満の場合は数字の前に空白が入ります。%(数字 a).(数字 b)f の場合は数字 a が最小桁数、数字 b が小数点以下の最小桁数を指定しています。

❖ 問題

- ① `int` 型変数に 12、`double` 型変数に 3.3 を入れて $12 \div 3.3$ を小数点 3 桁まで出力してください。
- ② `printf("¥n");` と画面に出力してください。(ヒント:¥¥n)